



生きる力

学習指導要領が変わります

平成21年4月から、幼稚園、小学校、中学校で、
新しい教育内容がスタートします

「生きる力」をはぐくむ
という理念は
これまでも、これからも大切



野依良治

「生きる力」とは

-- 知・徳・体のバランスのとれた力

変化の激しいこれからの社会を生きるために、
確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の
知・徳・体をバランスよく育てることが大切です

基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、
自ら考え、判断し、表現することにより、
さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や
感動する心などの豊かな人間性

たくましく生きるための健康や体力 など

これまでの学習指導要領でも
子どもたちの「生きる力」をはぐくむことを目指してきました
これからも「生きる力」をはぐくむという
理念は変わりません

新しい学習指導要領では、
学校で子どもたちの「生きる力」を
よりいっそうはぐくむことを目指します

今回の改訂のポイント

教育基本法の改正等で明確になった
教育理念を踏まえて教育内容を見直します

教育の目標に新たに規定された内容

- ・能力の伸長、創造性、職業との関連を重視
- ・公共の精神、社会の形成に参画する態度
- ・生命や自然の尊重、環境の保全
- ・伝統と文化の尊重、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重、国際社会の平和と発展に寄与

学力の重要な3つの要素を育成します

- 基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせます
- 知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をはぐくみます
- 学習に取り組む意欲を養います

道徳教育や体育などの充実により、
豊かな心や健やかな体を育成します

生きる力

野村萬斎

「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、
基礎的な知識・技能の習得と
思考力・判断力・表現力の育成の両方が大切です



それぞれの力をバランスよくのばしていくために、
教科等の授業時数を増加し、教育内容を改善します

「学習指導要領」

全国どここの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、
各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているもので、教科書や学校での
指導内容のもとになるものです

授業時数の増加

小学校

○国語・社会・算数・理科・体育の授業時数を6年間で約1割増加します

○週当たりの授業時数を1・2年生で週2時間、3～6年生で週1時間増加します

国語:1・2年生で週9時間に増加

算数:2～6年生で週5時間に増加

理科:4～6年生で週3時間に増加

体育:1～4年生で週3時間に増加

外国語活動:5・6年生で週1時間新設

		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外国語活動	総合	特活	合計
1年生	新	9	—	4	—	3	2	2	—	3	1	—	—	1	25
	現行	8	—	3.4	—	3	2	2	—	2.6	1	—	—	1	23
2年生	新	9	—	5	—	3	2	2	—	3	1	—	—	1	26
	現行	8	—	4.4	—	3	2	2	—	2.6	1	—	—	1	24
3年生	新	7	2	5	2.6	—	1.7	1.7	—	3	1	—	2	1	27
	現行	6.7	2	4.3	2	—	1.7	1.7	—	2.6	1	—	3	1	26
4年生	新	7	2.6	5	3	—	1.7	1.7	—	3	1	—	2	1	28
	現行	6.7	2.4	4.3	2.6	—	1.7	1.7	—	2.6	1	—	3	1	27
5年生	新	5	2.9	5	3	—	1.4	1.4	1.7	2.6	1	1	2	1	28
	現行	5.1	2.6	4.3	2.7	—	1.4	1.4	1.7	2.6	1	—	3.1	1	27
6年生	新	5	3	5	3	—	1.4	1.4	1.6	2.6	1	1	2	1	28
	現行	5	2.9	4.3	2.7	—	1.4	1.4	1.6	2.6	1	—	3.1	1	27

は増加する教科

数字は1週間当たりの標準授業時数

合計	新	1461	365	1011	405	207	358	358	115	597	209	70	280	209	5645
時間数(※)	現行	1377	345	869	350	207	358	358	115	540	209	—	430	209	5367

※6年間の合計標準授業時数(1単位時間は45分、授業は年間35週(1年生は34週))



紺野美沙子

中学校

○国語・社会・数学・理科・保健体育・外国語の授業時数を3年間で約1割*増加します

○週当たりの授業時数を各学年で週1時間増加します

*選択教科の実態を踏まえた数字です

国語:2年生で週4時間に増加

社会:3年生で週4時間に増加

数学:1・3年生で週4時間に増加

理科:2・3年生で週4時間に増加

保健体育:各学年で週3時間に増加

外国語:各学年で週4時間に増加

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	外国語	道徳	総合	特活	選択教科	合計
1年生	新	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1.4	1	—	29
	現行	4	3	3	3	1.3	1.3	2.6	2	3	1	2~2.9	1	0~0.9	28
2年生	新	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	1	—	29
	現行	3	3	3	3	1	1	2.6	2	3	1	2~3	1	1.4~2.4	28
3年生	新	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	2	1	—	29
	現行	3	2.4	3	2.3	1	1	2.6	1	3	1	2~3.7	1	3~4.7	28

は増加する教科

数字は1週間当たりの標準授業時数

合計 時間数(※)	新	385	350	385	385	115	115	315	175	420	105	190	105	—	3045
	現行	350	295	315	290	115	115	270	175	315	105	²¹⁰ _{~335}	105	¹⁵⁵ _{~280}	2940

※3年間の合計標準授業時数(1単位時間は50分、授業は年間35週)

授業時数の増加は、「詰め込み教育」への転換ではなく、主に次の学習を充実するために行うものです

- ① つまづきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習
- ② 知識・技能を活用する学習(観察・実験やレポート作成、論述など)

具体的な改善内容

言語の力をはぐくみます

国語をはじめ各教科等で、記録、説明、批評、論述、討論などの言語を使った活動を行い、全ての教科等で言語の力をはぐくみます

たとえば、

国語の時間では・・・

・経験したことを記録・報告する活動や、相手を説得するために意見を述べ合う活動、知識や経験を活用して論述する活動を行います

社会の時間では・・・

・社会的な事柄について、資料を読み取って解釈し、考えたことを説明したり、自分の意見をまとめた上で、お互いに意見交換をしたりする活動を行います

算数・数学の時間では・・・

・言葉、数、式、図、表、グラフを使って論理的に考え、根拠を明らかにして筋道を立てて説明し、伝え合う活動を行います

理科の時間では・・・

・仮説を立てて観察・実験を行い、結果を分析・解釈する活動や、日常生活の現象を科学的な用語を使って説明する活動を行います

美術の時間では・・・

・作品に対する自分の思いや考えを説明し、お互いに批評し合う活動を行います

生きる力

浅田真央

理数の力をはぐくみます

- 算数・数学、理科の授業時数を増加し、観察・実験や反復学習などを充実します
- 国際的に通用するカリキュラムにするなどの観点から、教える内容を充実します
たとえば、二次方程式の解の公式(中・数学)、イオン、遺伝、進化(中・理科)など

外国語教育を充実します

- 小学校5・6年生で、英語を中心とした「外国語活動」を導入します
→ 外国人との交流などにより、聞く・話すを中心に英語を使ってコミュニケーションすることの楽しさを知るとともに、言語や文化に慣れ親しみます
→ 平成21年4月には、小学校5・6年生への英語ノートの配布、各学校への音声CDなどの配布を行います
- 中学校では聞く・話す・読む・書く力を総合的に育成します
授業時数を週3時間から4時間に増加、学ぶ語数を900語から1200語に増加など

伝統や文化に関する教育を充実します

たとえば、

国語の時間では・・・

・小学校で古文・漢文の音読を行います

社会の時間では・・・

・小学校で国宝などの文化遺産、中学校で江戸時代の教育・文化や近現代史など、歴史学習を充実します

音楽の時間では・・・

・唱歌や和楽器の学習を充実します

保健体育の時間では・・・

・中学校で男女共に武道を必修にします

新しい時代に対応した教育を充実します

たとえば、次のような内容を充実します

環境教育:持続可能な社会をつくることの重要性

家族と家庭に関する教育:家庭生活の大切さ

食育:望ましい食習慣の形成

消費者教育:消費者の基本的な権利と責任についての理解

情報教育:情報の活用、情報モラル

特別支援教育:一人一人の障害の状態に応じた指導の工夫

総合的な学習の時間は、

「生きる力」をはぐくむために引き続き重要です

各教科等で知識・技能を活用する場面を増やし、

総合的な学習の時間では自分で課題を設定して解決する学習や、

教科横断的な学習をしっかりと行うようにします

学校週5日制は継続します

規範意識や他人を思いやる心をはぐくみます

たとえば、道徳の時間では・・・

- ・児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材を開発・活用します
- ・子どもの発達に応じて、あいさつ、規範意識、自他の生命の尊重、社会への主体的な参画などについて指導します

健やかな体を育てます

たとえば、体育・保健体育の時間では・・・

- ・運動する子どもとそうでない子どもの二極化を解消し、体力を高めることができるよう、体をほぐす・バランスをとるなどの「体づくり運動」を小学校低学年から行います
- ・球技や武道、ダンスなど様々な運動を行います

幼稚園の教育も充実します(平成21年度から実施します)

たとえば、次のような内容を充実します

- ・体を動かすことや望ましい食習慣の形成
- ・友達と話し合ったり、考えたり、きまりの必要性に気づいたりすること
- ・幼稚園と小学校の連携
- ・預かり保育と子育ての支援

生きる力

よしもとばなな

実施のスケジュール(小・中学校)

	平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校					
学習指導要領	周知	先行実施	→	全面実施	→
教科書	編集	検定	採択・供給	使用	→
中学校					
学習指導要領	周知	先行実施	→	全面実施	→
教科書	—	編集	検定	採択・供給	使用

一部の教科等で先行実施
 全ての教科等で全面実施
 (新学習指導要領による教科書を使用)

先行実施 の内容(予定)

新しい教科書ができるまでの間、
先行して実施できる内容については、
平成21年度から実施します

- たとえば、教科書のない道徳、
総合的な学習の時間、特別活動は・・・
→21年度から全面的に新学習指導要領の
内容を学習します
- たとえば、算数・数学、理科は・・・
→21年度から補助教材などを使って、
新学習指導要領の内容を追加して学習します
- たとえば、小学校の外国語活動は・・・
→学校の実態に合わせて、21年度から
外国語活動を行うことができます

生きる力

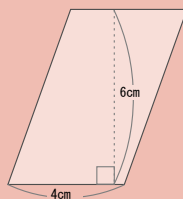
石川
遼

子どもたちの現状

基礎的な知識・技能は身に付いていますが、
知識・技能を実生活の場面に活用する力に
課題があります

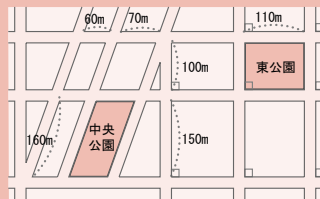
知識型問題例

平行四辺形の面積を求める
問題の正答率：96.0%



活用型問題例

中央公園と東公園の面積を
比較する問題の正答率：18.2%



(平成19年度全国学力・学習状況調査小学校6年生算数)

生きる力

日野原重明

読解力や記述式の問題に課題があります

生徒の学習到達度調査（PISA）での参加国中の順位

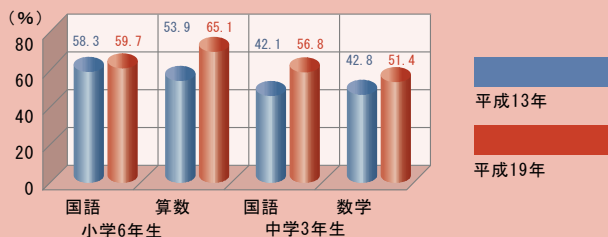
	H12 (32)	H15 (41)	H18 (57)
科学的活用能力	2	2	6
数学的活用能力	1	6	10
読解力	8	14	15

調査は知識や技能を実生活でどの程度活用できるかを評価（記述式問題が中心）

調査対象: 高校1年生 （ ）はその年の調査の参加国数

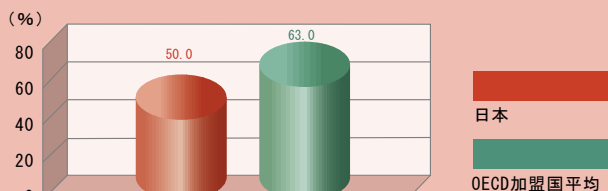
学習意欲は向上していますが、国際的には低い水準です

国語、算数・数学の勉強が「好き」又は「どちらかといえば好き」な児童生徒の割合



（平成13年度教育課程実施状況調査）
（平成19年度全国学力・学習状況調査）

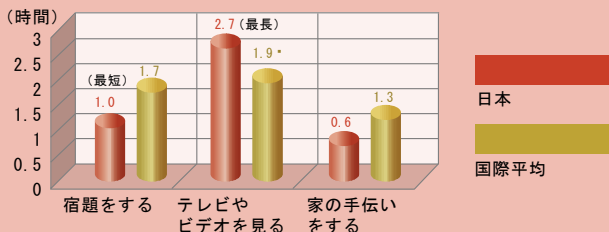
科学で学ぶことについて興味がある割合



調査対象: 高校1年生
（PISA2006調査）

学校外での一日の過ごし方に課題があります

一日あたりの平均時間



調査対象: 中学2年生 (国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2003))

自然体験の機会が少なくなっています

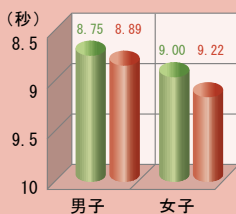
(%)

	H10	H17
チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたことがほとんどない	18.7	34.9
太陽が昇るところや沈むところを見たことがほとんどない	33.6	43.1
海や川で泳いだことがほとんどない	9.8	26.0
キャンプをしたことがほとんどない	38.2	52.8

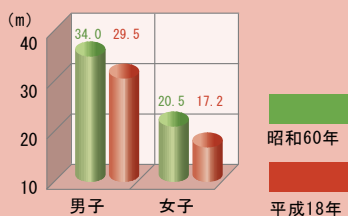
調査対象: 小学2・4年生、中学2年生
(平成17年度青少年の自然活動体験等に関する実態調査報告)

体力・運動能力が低下しています

50m走



ソフトボール投げ



調査対象: 小学生(11歳)(体力・運動能力調査)

社会全体ではぐくむ「生きる力」

家庭をはじめとして、社会全体で、子どもたちの
「生きる力」をはぐくんでいくことに
ご理解とご協力をお願いします

みなさんの家庭ではいかがですか？

学校での出来事について子どもと話をしている

「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつをしている

早寝早起きを心掛けている

子どもは毎日朝食を食べている

子どもが手伝う家事の分担を決めている

テレビやゲームの時間にルールを決めている

家で読書や勉強する時間をとっている

子どもと一緒に地域の活動に参加したことがある

浅田真央さん、石川遼さん、紺野美沙子さん、野村萬斎さん、野依良治さん、
日野原重明さん、よしもとばななさんに「生きる力」の趣旨にご賛同いただき、
「生きる力」のサインをいただきました



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

初等中等教育局教育課程課 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 電話 03-5253-4111[代表]

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください

ホームページ 文部科学省ホームページ>トピックス「新しい学習指導要領」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm